

八嶋博人&美和子 デュオリサイタル



八嶋博人

Hiroto Yashima (ヴァイオリン)

仙台市に生まれ、4歳より現岡幹博氏に、後、海野義雄氏に師事。宮城フィルハーモニー管弦楽団（現在の仙台フィル）のコンサートマスターを勤めた後83年に渡欧し、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学に入学。シャンドール・ヴェーグ教授（1912~97）のマスタークラスにおいて学ぶと同時に、カメラータ・アカデミカ・ザルツブルクのメンバーに抜擢される。同大学を卒業後、ソロクラスに進み、87年にソロディプロマを取得した。同年からハノーファー北ドイツ放送フィルの第1ヴァイオリニスト。

ソリストとして世界各地で演奏。音楽を通して国際交流を進める活動にも参加しており、「アジア少年少女愛と夢のコンサート」のゲストアーティストとして、スリランカ、中国、モンゴルで演奏した。08年、四川被害地青少年育成基金設立記念コンサートに招かれ、再び中国で演奏した。

また、東日本大震災復興支援のため、ドイツ国内各地におけるチャリティーコンサートに出演し、浮ヶ谷孝夫氏指揮、ブランデンブルク国立管弦楽団のソリストとしても演奏した。2010年から、毎年夏休みに開催される豊橋オーケストラキャンプに指導と演奏で招かれている。



八嶋美和子

Miwako Yashima (ヴァイオリン、ビオラ)

福島市出身。4歳からヴァイオリンを始め、中学時代から兎東龍夫氏に、後、海野義雄氏に師事。

77年に渡欧し、ミュンヘン国立音楽大学において、ゲアハルト・ヘッツェル教授に師事。80年、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学における、巨匠シャンドール・ヴェーグ教授のマスタークラスに入学。また、ニコラウス・ハルノンクール教授のマスタークラスにおいて、バロック音楽と古典音楽の奏法および解釈を学ぶ。

85年、クライネスディプロムを取得して卒業。ヴェルテンベルク室内合奏団のメンバーとして、ヨーロッパ各国を演奏旅行。

ソロと室内楽の演奏活動のかたわら、後進の指導にも当たっており、門下からドイツ青少年コンクールヴァイオリン部門、室内楽部門において多数の優勝、入賞者を輩出している。更に、門下生を中心とした弦楽アンサンブルを指揮して、各方面から高い評価を得ており、チャリティーコンサートの企画、演奏や、絵画の展覧会と音楽のコラボレーションなど、多方面で活躍している。ビオラにも意欲的に取り組み、昨年は、北ドイツ放送主催の室内楽シリーズにビオラ奏者として出演した。また、豊橋オーケストラキャンプに指導と演奏で招かれた。

プログラム

- J. S. バッハ 2声のインヴェンションから
- B. バルトーク 無伴奏ヴァイオリンソナタ
- J. M. ルクレール 2つのヴァイオリンのためのソナタ
第5番 ホ短調
- B. バルトーク 44の二重奏曲 から

N. パガニーニ 「わが心はうつろになりて (レ・コルピッソ・ミセント)」
(バイジェルのオペラ「水車小屋の娘」より)
による変奏曲

W. A. モーツァルト ヴァイオリンとビオラのための二重奏曲
ト長調 KV423

とき 2013年4月8日(月) 午後6時15分開場 6時30分開演

ところ 極久里福島店 福島市野田町6丁目12-194-8 (電話 024-563-7871 e-mail info@agricoffee.com)

入場料 ¥2,000 (コーヒー、菓子付き) 定員: 40名 (ご予約をお願いします)